

## 平成 27 年度 九州学生交流会 報告書

平成 27 年度九州学生会委員長 若田 圭史 (宮崎大学)

平成 27 年度九州学生会事業として、以下の企画を開催したことを報告する。

### 記

企画	:	ANA 機体整備工場見学、東京モーターショー2015
企画幹事	:	若田 圭史 (宮崎大学、平成 27 年度九州学生会委員長)
実施責任者	:	岡部 匡 (宮崎大学、平成 27 年度九州学生会顧問会長)
実施日	:	平成 27 年 11 月 4 日 (水) ~平成 27 年 11 月 5 日 (木)
スケジュール	:	11 月 4 日 ANA 機体整備工場見学 11 月 5 日 東京モーターショー2015 見学
参加人数	:	16 名 (教員 1 名、学生員 15 名)

今回参加した学生からの感想を以下に掲載する。

### [感想]

#### ● 若田 圭史 (宮崎大学 修士 2 年)

今年度の交流会では ANA 機体整備工場と東京モーターショーの 2 カ所への訪問し、どちらも非常に良い経験となりました。ANA 機体整備工場では、自分たちの乗る機体が空港に到着し次に離陸するまでの限られた時間に行われる数々の整備や点検、そしてそれらに携わる人たちが数多くいることを教えてもらいました。また、実際に工場内に入り整備中の機体を間近で見学した際には、工場や機体の大きさに興奮し、設備や整備の内容には興味を惹かれるばかりでした。東京モーターショーでは、次世代の車、それも一般車だけではなくレーシングカー、トラック、バイクなど多様な車種、そしてそれらに関わる技術等を見ることができました。特にモーターショーでは、色々な車両のカットモデルや細かな部品を間近で一度に見ることができるのでとても勉強になりました。

今回、自身としては他大学の学生とも楽しく話すことができ、十分に満足のいくものでした。参加してくれた他の学生たちも、この 2 日間の交流会を楽しかった、良い経験だったと感じてもらえれば嬉しいです。

#### ● 井上 大地 (宮崎大学 修士 2 年)

今回の視察では、東京モーターショーおよび ANA 内に参加させていただき、各社、技術力の高さや自社製品に対する誇りや自信を強く感じました。ANA での格納庫視察では、普段見ることのできない現場を見学することができ、1 つのものづくり・整備を行うことにも多くの機械屋が関わっていることが分かりました。そして、ものづくりを行う上では現在勉学を行っている 4 大力学の全てが重要になることを感じました。また、他大学の学生と交流することで、他大学の行っている研究や、これからどのような技術者を目指しているか等を聞くことができました。今回視察を行った各企業の皆様のように、私もこれから 1 人の技術者として自分の製品に誇りを持てるような特化した技術者になりたいと強く思いました。

#### ● 川野 芳弘 (宮崎大学 修士 2 年)

私は今回の親睦会で ANA 工場見学や東京モーターショーで先端技術が見られたことはもちろんですが、やはり参加した学生との交流が最も印象に残っています。他学の学生とどんな研究を行っているのか、就職先として考えている会社はあるのか、また、技術者としてどうアプローチして社会に貢献していきたいのか、といった濃い会話をすることができました。これまで九州の工学系の学生とは関ったことはありませんでしたので、機会学会の催しとしてこのような貴重な場を設けてくださったことに感謝の気持ちでいっぱいです。

#### ● 近藤 優也 (宮崎大学 修士 2 年)

ANA 工場見学では、普段は入ることのない飛行機の格納庫を見学し、飛行機の整備が実際、どのように行われているのかを知ることができた。飛行機の整備は 24 時間フル稼働であることを知り、私達が快適な空の旅を送れるために多くの人が影で支えてくれているのだと感じた。東京モーターショーでは、多くの企業が出展しており、どのブースも見ていてワクワクするものであった。また、私が来年、入社予定の企業も出展しており、来年以降、自分がどのような仕事をしているのか期待で胸がふくらんだ。

今回、二日間という短い期間ではあったが、他大学との学生とも交流を深めることができ、とても良い時間であった。このような機会を作ってくくださったことに心から感謝したい。

#### ● 檜崎 義悟 (宮崎大学 修士 1 年)

はじめに ANA のメンテナンス工場を見学した際の感想を記す。ANA の工場見学では、飛行機がなぜ飛べる

のかということを経験して分かりやすい説明を受けました。また工場内は、予想よりもはるかに大きく、工場の構造は飛行機の出入りがしやすい工夫がされていました。次に東京モーターショーの感想について記す。東京モーターショーでは、各メーカーの最新技術が結集したモデルが多数展示してありました。私は二輪車に興味があったため、YAMAHAのブースに展示してあったYZFR1Mにとっても感動しました。実際に乗ることもできとてもうれしく感じました。

最後に、各大学の学生との交流について感想を記す。1日目の懇親会では、普段聞くことができない研究の話や同じ興味分野の話などを通して、とても有意義な時間を過ごすことができました。今回このような交流会に参加できたことをうれしく感じ、体験できたことを今後の研究および学業に活かしていきたいと感じました。ありがとうございました。

- 引地 勇気 (熊本大学 修士2年)

ANAの機体工場見学では、ボーイング777や787、767等の大型機、中型機がどのように整備されているかを見ることができました。航空機1機を運行させるために多くの人々が貢献していることを実感することができました。また、ANAの整備士の道具管理が徹底的であることを知り、研究室でも道具の管理は徹底しなければならないと思いました。

懇親会では他大学の研究室の運営状況や学生の研究への取り組み等の情報交換をすることができ、非常に良い交流となりました。東京モーターショーでは、各メーカーの最新モデルの車やコンセプトカーを見ることができ、企業毎の今後の戦略等を知ることができました。私は今後自動車メーカーのエンジニアとなるので、一般の方々からの自社の評価を間近で見たり、聞いたりすることができ、非常に参考になりました。

- 本田 拓郎 (熊本大学 修士1年)

ANA機体整備場では、普段近づくことができない機体外部や整備の現場を目の当たりにすることができて貴重な経験となった。フライトスケジュールを守りつつ、かつ妥協のない整備を貫くために、徹底された工程管理、品質管理、人材管理がなされており感心させられた。東京モーターショーでは、想像以上の展示規模や観衆の多さに圧倒されるとともに、自分も世間に注目されるものづくりを目指したいと思った。華やかな車両展示の傍らでは、多くのサプライヤーの素晴らしい技術要素を見学・体験することができた。個人的には、こちらの要素開発の展示に興味深く、見識を深める上で大変勉強になった。また、参加学生の皆さんとも日頃の研究生活について語り合うよい機会となった。本企画にご尽力下さった方々に感謝御礼申し上げます。

- 田尻 鴻平 (熊本大学 修士1年)

ANA整備工場では、高い安全性が求められる飛行機が、時間をかけて人の目と手を使って細かいチェックがされていることがわかりました。また、東京モーターショーでは自動運転技術や燃料電池車など先進技術を見ることができ、新聞やネットの記事で見聞きしたことが、目の前にあって感動しました。自分は自動車会社に就職したいので来年の就活に向けて、どのメーカーがどんなクルマ作りを目指しているかを知れたことは、大変貴重な機会になりました。

最後に、他大学の学生と交流できたことは、色んな知識を交換できたので良かったと思います。今回の交流会で得たことをこれからの学生生活に役立てたいです。有難うございました。

- 高木 航 (熊本大学 修士1年)

今回は日本機械学会九州支部の学生交流会として、ANAの機体工場見学と東京モーターショーの視察を行った。交流会を終えての所感を以下に述べる。機体工場見学では飛行機が飛ぶメカニズムに始まり、ANAの業務内容、ジェットエンジンの製作費用、格納庫の規模などを学習した。大学院の講義にて、圧縮性流体および乱流について学んでおり、実際のジェットエンジン、翼の形状を間近に見ることによって理解が深まった。最先端技術を搭載した自動車が数多く並び、今の自動車業界を知ることが出来た。各企業の方とお話しをすることにより、詳細な性能なども聞くことが出来た。各企業のコンセプトも伺うことができ、今後の就職活動にも生かされる見学会であった。見学会に加え、他大学との交流で互いの研究の話もすることができ、非常に充実した学生交流会であった。

- 川崎 雄太郎 (熊本大学 修士1年)

学生交流会を通して、学生生活では学ぶことのできない航空業界、自動車業界について知る、とても良い機会であった。ANA機体工場見学では普段見ることのない航空機を間近にし、細部まで整備士の手によって多くの部品が管理され、ひとつの航空機に多くの人がかかわり、欠陥なく常に良い状態を維持していることに感銘を受けた。東京モーターショー視察では、多くのメーカーが様々な技術を駆使した最先端自動車を出展しており、自動車業界はこれからさらに大きく発展するのではないかと強い期待を感じた。また、他大学の学生らと様々な意見を交換し合うことができ、充実した時間を過ごすことができた。

- 川原 愛介 (鹿児島大学 修士2年)

このたびは、ANAの機体工場と東京モーターショーの見学という素晴らしい機会を設けていただき、心より感謝申し上げます。また、他大学の学生と交流する場を設けていただけたことも非常に良い時間を過ごすことができ、2日間という短い期間ではございましたが、とても貴重な経験を積むことができました。

ANA 機体工場の見学では、目の前で機体を見ることができ、圧倒的なスケールと迫力に驚きました。また、安全に空の旅ができているのは、普段目にするところでの整備士のみなさんのおかげであるということを確認することができました。モーターショーでは、世界の最新技術を見ることができ、純粋に感動しました。自動運転に始まり、各社の技術力の高さに驚きましたし、進歩のスピードにも驚きました。

末筆ではございますが、このような貴重な機会を設けていただいた、日本機械学会九州支部に心より感謝申し上げます。

- 福田 照 (鹿児島大学 修士1年)

去る11月4～5日、私は機械学会九州学生交流会に参加させて頂きました。毎年恒例となっている本交流会ですが、今年は東京での研修でした。初日は羽田空港に隣接しているANAの機体整備工場を見学し、二日目に東京モーターショーを視察しました。本交流会では、飛行機整備という圧倒的なスケールの中にも要求されるきめ細やかな技術、モーターショーで見た自動車業界の最先端技術の二つを間近で学ぶことができました。また、初日夜の懇親会では、他大学機械系の同級生、先輩方と、お互いの研究の話や約半年後に迫った就職活動の話等を、お酒も交えてざっくばらんにすることができ、貴重な機会となりました。

末筆ではございますが、我々学生員にこのような貴重な機会の場を設けて頂いた、機械学会九州支部に感謝申し上げます。ありがとうございました。

- 小松 大介 (鹿児島大学 修士1年)

今回、11/4～11/5のANA機体工場見学および東京モーターショー視察を通して、見聞を広めることができ、大いに満足しております。特にスポーツカーやバイクにも興味があり、将来、それに携わる研究者になりたいと思っております。自分でもスポーツカーやバイクを所有しており、ハイエンドユーザーと自負しておりますが、将来の技術など検討もつきません。しかし、今回の交流会を通して、企業ごとにコンセプトが異なり、様々な視点からものづくりを行っているなあと実感しました。机上の勉強だけでなく、このような経験を積むことで、より具体的な将来を描けるきっかけとなりました。

- 藤原 嵩 (鹿児島大学 修士1年)

この度は、九州学生会交流会に参加させて頂き、誠に有難うございました。本交流会でのANAの機体工場および東京モーターショーの視察はもちろんのこと、他大学の学生と懇親会等を通して話す中で、とても良い刺激を受けました。是非ともこの経験を将来の就職活動等に生かそうと考えます。

ANAの機体工場視察におきましては、実際に機体が格納されている整備場内を案内して頂き、実物の迫力に終始圧倒されました。また、工場内にてエンジン内を点検している場面も拝見でき、その中で、整備員の方が欠かさず指さし点検しているところが印象的でした。また、1フライトに至るまでに非常に大勢の人が携わり、その一人一人が責任を持ち業務を全うしている点がすごく印象的で、これから技術屋になるにあたり、是非とも真似ていこうと感じました。東京モーターショーでは、主催目的にもあるように自動車業界の世界最先端技術を直に体験することができ、とても勉強になりました。中でも印象的であったものは、YAMAHA発動機が自動2輪だけでなく、3輪車、4輪車を展示していた点です。さらにはバイクを人型ロボットが操縦し、そこから得られた最適なコース取りや、運転技術を将来の研究開発に生かすための、自動操縦ロボ「MOTOBOT」なるものも展示されていました。これに関しては予想もしていなかったもので、非常に驚いたのと同時に、技術力の凄さを見せつけられました。

上述のように、本交流会はとても勉強になる2日間であり、何らかの形でこの経験を必ず将来、生かせるように日々研究等に励んでいこうと感じました。改めまして、今回は交流会に参加させて頂き、誠に有難うございました。

- 勝田 廉弥 (鹿児島大学 修士1年)

ANA機体工場見学では、飛行機の基礎的なことを学び、そしてボーイング787を間近で見ることができ、とても興奮しました。また、飛行機がフライトするまでに、航空会社で働く人たちがどのように行動しているのか知ることができました。パイロット、キャビンアテンダント、整備員など様々な職種がありますが、お客様に迷惑をかけないよう、事故がおきないよう、全ての人たちが集中して仕事に取り組み、そして、連携をしっかり取っていることが分かり、重大な事故が起きていないことも納得がきました。改めて、仕事を責任もって取り組むこと、仲間とのコミュニケーションを怠らないことが重要であると学ぶことができました。東京モーターショーの視察では、電気自動車や燃料電池車などの最先端の自動車を見学しました。私が特に興味をもったのは、メルセデスベンツの自動運転車F015です。実際に車内も見ましたが、運転席がなく、ラウンジチェアが向かい合っていて、衝撃を受けました。それと同時に、近い将来、こういった車が世に出ることを考えるとわくわくしました。モーターショーで最先端の自動車技術に触れることで、私も人をわくわくさせるような仕事がしたいと感じることができました。

今回、九州学生交流会に参加することができ、貴重な経験をさせていただき本当にありがとうございました。



図 1. ANA 機体整備工場見学



図 2. 東京モーターショー2015